

福島県立会津農林高等学校開校式 福島県知事祝辞

福島県立会津農林高等学校が記念すべき開校の日を迎えられましたことを、心からお喜び申し上げます。

本校は、福島県立耶麻農業高等学校と会津農林高等学校のそれぞれが持つすばらしい伝統と校風を継承する高等学校として、今ここに、新たな歴史の第一歩を踏み出しました。

本校の開校に御尽力を頂いた関係の皆さんに深く感謝を申し上げますとともに、記念すべき開校初年度の生徒となられる皆さんに心からお祝いを申し上げます。

本校は、会津の農業教育の拠点校として、専門的、実践的な知識・技術を身に付け、社会でたくましく生き抜く力を持った、地域の発展に貢献できる人材の輩出を目指す学校であります。

このため、特色ある学びとして、ドローンを活用したスマート農業を始め、GAPや食品加工のHACCP認証取得に向けた学び、会津の伝統である発酵・醸造に関する学び、地元の伝統野菜をいかした商品開発など、最先端技術と食文化が融合した学びを積極的に導入することにより、会津地域の農業にとどまらず、福島県全体の農業の未来を担う人材を育成してまいります。

本校がある、ここ会津坂下町には、伝統行事の一つとして、栗村稻荷神社の「御田植え祭り」があります。中でも、五穀豊穰を祈願して奉納される「早乙女踊り」は、地域で古くから伝承されている神事ではありますが、深刻な後継者不足により継承が危ぶまれておりました。

そうした中、皆さんの先輩方が、「地域の伝統を絶やしてはいけない」と立ち上がり、踊り手として携わるようになり、以来、踊りだけでなく、太鼓や笛、謡いなど、その全てが会津農林高等学校において継承されています。この取組に参加していた皆さんの先輩は、以前、こんなことを語っておられました。

「伝統文化を継承することは、踊りを守り伝えるだけでなく、人の心のつながりを守ることもである」

新生「会津農林高等学校」で学ぶ皆さんも、こうした先輩方の姿勢を受け継ぎ、高い志と郷土の誇りを胸に、それぞれの思い描く夢の実現に向け、果敢に歩み続けられることを心から期待しております。

教職員の皆さんにおかれては、本校を支えてくださる多くの方々の御協力を頂きながら、生徒一人一人の個性や能力を十分に伸ばし、郷土への誇りと社会貢献への意欲にあふれ、自立的な精神を備えた人材の育成に努められますようお願いいたします。

結びに、本校の限りない発展と、可能性に満ちた生徒の皆さんの御活躍、並びに御臨席の皆さんの御健勝を心からお祈り申し上げ、お祝いの言葉といたします。

令和五年四月十日

福島県知事 内堀雅雄